

武生商工高等学校 体育館・商業棟

建築場所 福井県越前市文京1丁目

建物概要 体育館: 鉄骨鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地上3階 3,347.51 m²

商業棟: 鉄筋コンクリート造 地上4階 2,747.03 m²

工事概要 増築工事

竣工年月 2025(令和7)年3月

事業者 福井県

設計監理 協同組合福井県建築設計監理協会

施工者 体育館 建築: 田中建設(株)、北信建設(株)、(株)高野組 特定JV

電気: 河上電機(株) 機械: 上野ガス(株)

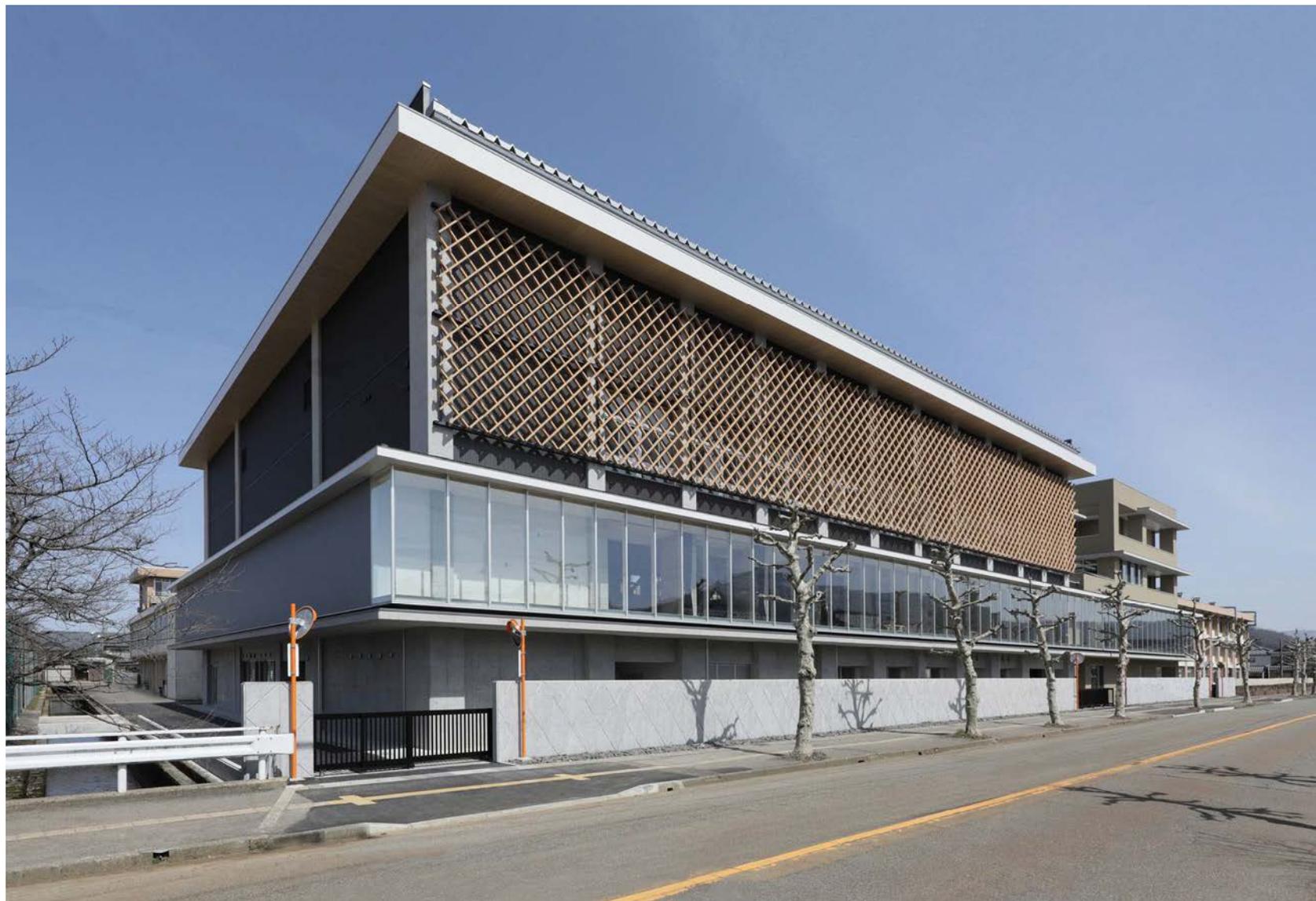
商業棟 建築: (株)ウエキグミ、(株)関組 特定JV

電気: 河上電機(株) 機械: テラオライテック(株)

(環境配慮) クール・ヒートピットの採用

(木材活用) 福井県産木材を使った壁及び天井ルーバー、造り付け家具

全景 南西面



全景 北東面



1階 ピロティ



2階 ホール



1階 フェンシング場



2階 アリーナ



全景 南面



鳥瞰



本計画では、工業高校と商業高校が統合され、新たに職業系高校として再編されることを受けて、「つくる（工業）」と「うる（商業）」の専門性を活かしつつ、両分野の融合によるシナジー効果を生み出す学びの場の創出を目指しました。その象徴として、今回計画の建物1階中央には、生徒が自由に集い、地域住民が参加するイベントなども開催できる開放的なピロティ空間「森の広場」が設けられています。また、1階から4階までを貫く吹き抜けの「だんだん広場」では、他階で行われている学習や活動を視覚的・空間的に感じ取ることができ、偶発的な気づきが新たな学びにつながるよう意図されています。

建築学科を有する工業高校であることから、生徒たちの思い出づくりや就労体験を兼ねて、ワークショップを行いました。ワークショップでは、建物のシンボルとなる「学びの木」や建物サイン、家具のデザインについて、生徒たちが設計者の助言を受けながら考案しました。さらに、建物サインや家具の製作では、生徒たちが自ら山に入り木を伐採し、学校にある機械を使って加工・制作までを一貫して行っており、ものづくりの学びを実体験として深められる貴重な機会となりました。

設計者、監理者より